

ロータリーは機会の扉を開く

Rotary Opens Opportunities

2020-21年度 RI会長／ホルガー・クナーク
 RI.D2590ガバナー／吉田 隆男
 横浜旭RC会長／田川 富男

国際ロータリー第2590地区

横浜旭ロータリークラブ

事務所 横浜市旭区二俣川1-37-3 NUTS1階／〒241-0821
 TEL.045-465-6702／FAX.045-465-6712
 http://yokohamaasahirc.cho88.com
 Email:asahirc@titan.ocn.ne.jp

例会場 横浜市旭区二俣川1-45-30工藤ビル
 (榎岡田屋3階会議室)

例会日 毎週水曜日／12時30分～1時30分



横浜西部病院へフェイスシールド寄贈

鶴ヶ峰中学職業講話

旭ふれあい区民まつり

2021年5月26日 第2436回例会 VOL. 52 No. 16

■司会 SAA 宋 謹衣

■開会点鐘 会長 田川 富男

■出席報告

会員数	24名	本日の出席数	21名
本日の出席率	91.3%	修正出席率	91.3%

■本日の欠席者

青木、嶋崎

■ゲスト

林 重克様 (特定非営利活動法人オールさこんやま理事長)

■会長報告 田川 富男

前回、例会に参加することが出来ずに申し訳ございませんでした。その日は、二宮麻理子幹事と共に第5グループの横浜あざみロータリークラブ創立30周年記念式典とチャリティーコンサートが催され列席してまいりました。この様な時なので、ロータリーソング無し、当然の如く会食無しで淡々と式は進み終了しました。それを考えると、当クラブの創立50周年式典が大成功にて完了したことは喜ばしく、感謝の思いでした。

本日はクラブ協議会の実施を考えていますが、各委員会の委員長には困難な協議会となりますが、よろしく願いいたします。

また、地区からの「子ども食堂支援」の資金援助の贈呈式を開催します。福村先生、皆さんのご協力をお願い申し上げます。

■幹事報告

1) 例会臨時変更のお知らせ

○横浜あざみロータリークラブ

6月30日(水)移動例会

アートフォーラムあざみ野 点鐘13時15分

■贈呈式

▶田川会長／特定非営利活動法人オールさこんやま林重克理事長様

貴会は日頃において横浜市旭区の子ども達の支援、子育て支援のご努力は誠に顕著であります。

横浜旭ロータリークラブは感謝の気持ちとして、今後にて貴会の活動を推進していただくためにも、微力ではありますが活動資金として贈呈させていただきます。

また、これからも旭区の子ども達と子育て支援に、益々の活動を期待しております。

▶紹介／福村会員

「NPO法人オールさこんやま」の林重克理事長を紹介させていただきます。林理事長は左近山連合自治会会長をされています。また地



域の様々な団体の代表も歴任されておりますので、皆様におかれましては林理事長をご存じの方も大勢いらっしゃるので、ご紹介については割愛させていただき、この度支援金を寄贈していただく「NPO 法人オールさこんやま」についてご紹介します。

もともと左近山地域支援活動について区と連合自治会や民生委員会等で協議をしている中で、もう一つきちっとした活動拠点が欠けている課題が常々ありました。行政の方でも左近山は中々議論が活発ではあるけれど実際の活動としての拠点が無いとの指摘があり、そこで一念発起して「NPO 法人オールさこんやま」を作りました。その設立の趣旨は各世代に対する、ロータリー的に言えば奉仕で、支援活動を幅広く行っていく、そして左近山地域で暮らすことに、生きがいや希望を持っていただく、といったことを趣旨に左近山団地連合自治会の理事らが中心となり立ち上げた団体です。

具体的には今はコロナ禍で十分に動くことが出来ませんが、その中でも継続して活動しているのは、ほっと左近山と言いまして、左近山商店街の一番はずれにある食堂兼活動拠点です。林理事長以下幹部の方々が、手弁当で、そしてボランティアの方々の支援を頂きながら食堂を運営しております。その中には旭区B級グルメの表彰を頂いたメニューもあります。また左近山商店街の街おこし活動にも参加していますがこの一年の活動に対して商店街が神奈川県から表彰されました。神奈川県内の商店街で平塚商店街について第2位、かながわ商店街準大賞を頂戴しています。

こども食堂活動についてですが、活動開始当初より林理事長から常々「単なる救貧対策や預けっぱなしの場であってはならない、親子の絆をより深めたり親と地域との接点であったり子供が安心して過ごせる場であるべき。」ということを引きつけておられます。

ほっと左近山では「こども食堂」とは敢えて銘打っておりません。「日曜ほっと」という遊びの場をつくる中で食育を展開しており活動自体は食事を提供することだけが目的ではないからです。例えば災害が発生した時に安全にご飯を食べられる方法で、おにぎりを無菌的に作って食べる方法があります。「ブンブンまわしのおにぎり」と言われてます。それを活

動の中で子供たちに遊びながら実践させます、日頃からやっていたらという時に役にたつだろうと。それがこども食堂に相当するところになります。商店街の店の協力で、炊き立てのご飯をいただきまして、子どもたちがおにぎりを作って食べる。中には日曜の昼で温かいご飯をみんなで食べたことがない子もいます。それだけでなく、季節ごとにお餅を焼いたりケーキをみんなで食べますがその様な思い出の無い子もいます。今更ながら驚くことは、団地内でもそういうことをやってもらったことがない子どもが多くいる現実です。そういうことをこの活動の中で知らされました。ささやかですが子供らの思い出作りにもなっています。

子育て支援活動は子どもたちに遊び場提供だけでなく、その親の支援にもなっています。コロナ前の話ですが、子どもを連れてくる中で表情が暗い親がいました。その親にスタッフが何か話しましょうかと声かけすると、話を聞いてくださるのかとむしろ親の方が食いついてくる。私どものスタッフには話の上手な保育士の経験者がおりまして、その方はたつきで子どもも親も元気になっていきます。

ただ今年は食べ物を置くことすらはばかれる中で、動けてはないのですが、その代わりに商店街のイベントについてはNPO オールさこんやまは全般的に協力をさせていただきました。そして今、多くの地域でイベント開催に難渋する中、左近山商店街のイベントは安全に、そして盛大に遂行でき県からの表彰にもつながりました。この度の子育て支援活動、こども食堂活動のロータリークラブからのご支援にあたり林理事長ともども大変感謝しております。

▶林理事長ご挨拶

本日は私どもの活動に対して、ロータリークラブの皆様から多大なるご支援ご協力に対して誠にありがとうございます。先ほど副理事長でもある福村会員からご紹介がありましたが、この活動を初めて今年で8年目になります。なんとか高齢化のなかで少ない子どもたち、中でも彷徨う子どもたちが沢山おります。その中で青少年の健全育成を私たちは見守っていきたく日々願っております。今はコロナの時代で思った活動は出来ませんが、



すこしでも子どもたちが安心して一緒に過ごせる場を作って行きたいと思っております。その中で本日は多大なるご支援ご協力を賜り大変ありがたく思っており、我々の活動の励みになります。本日はどうもありがとうございました。

■会員増強委員会 北澤 正浩

矢田会員より、ふたまたがわ歯科口腔外科院長の中谷逸希様をご紹介いただき、5月24日に市川会員と共に面接させていただきました。その場で入会手続き書にもご記入いただきました。今後審査していただきますが次年度の入会を予定しております。

■国際奉仕委員会 二宮 登

国際教育プロジェクト、フィリピン・ダバオ市立スペシャルスクールの教育事業へ、パソコンを日本より贈呈すべく現在準備を進めております。横浜旭RCとしても参加協力をお願いしたいと思います。

■ニコニコBOX(会員敬称略)

田川 富男／オールさこんやま林重克理事長様、旭ロータリークラブに列席いただきましてありがとうございます。

本日のクラブ協議会よろしくお祈りします。
二宮麻理子／オールさこんやま理事長林様ようこそ。

吉原 則光／林様、ご多用のところ卓話いただき有難うございます。よろしくお祈りいたします。クラブ協議会、会報委員会もよろしく。

齋藤 善孝／妻へ誕生日祝いのお花を頂きありがとうございました。

佐藤 利明／皆様お久しぶりです。林重克様お忙しい中ご苦勞様です。

福村 正／本日はよろしくお祈りします。

安藤 公一／林様ようこそお出で下さいました。福村先生お久しぶりです。本日の協議会よろしくお祈りします。

岡田 隆／来週の小田原、楽しみです。天気に恵まれますように。

市川 慎二／左近山連合自治会長林様ようこそお越し下さいました。

兵藤 哲夫／ロータリー昔楽しみ今おもに。

平子 智章／6月9日移動例会参加出来なくですみません。皆様楽しんで来て下さい。

■クラブ協議会

【クラブ管理】安藤公一

新型コロナ感染拡大防止による例会の取り止めの影響で、親睦、出席、プログラム、会報と全ての活動が計画通りには進まなかった。会報委員会については、添付の吉原さんからの報告をご参照ください。

▷出席委員会については、出欠に関わらずコロナ期間中は、原則100%と見做すこととなり、委員会として特に働きかけもできない状況でした。

▷会報委員会(吉原則光)

①週報について

第1回(2421回:2020年7月8日発行)

～第15回(2435回:2021年5月12日)まで15回の発行

・各回共計画通りに運びました。

「例会あつての週報」を痛感した今年度でした。しかし、特記すべきは、休会の間に臨時号を発行して、会員相互のコミュニケーションの充実をはかり、親睦・心の絆の強化に努めたことは、意義深いものがあつたと思います。この発案、実施は五十嵐会員によるものです。

②地域社会へのPRについて

週報の「会報番外記」の掲載計画

安藤会員「運動の勧め」

兵藤会員「雑感」

五十嵐会員「埋め草」

吉原会員「ロータリーの友からの川柳」

の4会員にとどまり、中途半端で終わってしまい残念でした。最終号まであと2回ありますので、ご投稿お祈りいたします。

▷プログラム委員会

コロナに対応した年間プログラムを作成したつもりでしたが、予想以上に事態は深刻になり、休会が続き、予定の変更を余儀なくされました。

私の見込みの甘さで、会員や外部からの卓話者様にご迷惑をおかけしたことをお詫びし

ます。

▷会員増強委員会／北澤

本来であれば入会候補者を例会に招待し、入会に繋げたかったのですが、コロナ禍の影響によりまったくできませんでした。

現在、矢田会員より、ふたまたがわ歯科口腔外科院長の中谷逸希様をご紹介いただき、次年度になるかと思いますが、入会手続きを進めています。

▷親睦委員会／目黒恵一

コロナ禍でどこにもも行けず、何も出来ない状況でしたが、次回6月9日の例会にてようやく小田原・真鶴の方に親睦旅行を行います。人数は13人。集合場所は農協JA裏口。8時に出発いたします。

【公共イメージ】五十嵐 正

本年度は今日を含めて16回の例会で、例年の3/1の状況で、盛沢山な計画を前に情けない内容となった事皆様にお詫び申し上げます。

その中で、8月には会員研修として、クラブ戦略計画の概要をご紹介しました。友の紹介はこれまで4回、また、新会員研修は、平子新会員がもう少し慣れてからという事で、次年度にお願いしたいと思います。広報については、災害対策委員会が昨年度より継続支援として行われた、聖マリアンナ病院への3回に亘るフェイスシールド寄贈につき、タウンニュースに紹介されました。また、11月の旭オンラインフェスティバルでは、社会奉仕委員会が中心となり、ロータリークラブの広報と旭クラブオリジナルの寸劇を制作し、紹介しました。

また、委員会とは直接関係ないのですが、宋会員のご尽力により、クラブの例会が会員へオンラインで配信されました。今後のクラブ戦略計画が具体化するとしたら、活動の柱の一つになるのではないかと感じました。

【奉仕プロジェクト】市川 慎二

現在のコロナ禍に伴い、職業、社会、国際、青少年奉仕委員会で計画しておりました活動の多くが中止となりました。

活動の内容としては職業奉仕、社会奉仕共同で、オンラインによる旭区民まつりにて、当クラブのPRと会員による畠山重忠の劇の映像提供をしました。

▷青少年奉仕では、ガールスカウトとの清掃活動を実施しました。

二俣川看護福祉高等学校のインターアクトについては、現在コロナ禍が落ち着くまで設立総会待ちの状態となっております。

▷国際奉仕では、7月30日、宋会員が日本語の勉強をした参考書・絵本など約30冊を二宮幹事、宋会員と共に「ひまわり学園」に寄贈しました。

9月23日、二宮会員の紹介の日本語支援ボランティアにパソコン1台寄贈しました。当日はガバナー来訪日でした。

9月25日、「ひまわり学園」の卒業式に二宮幹事、宋会員と参列しました。1ヶ月で挨拶、自己紹介が出来て凄さを感じる事が出来ました。

コロナ禍の中でしたが、少しは活動することが出来ました。

昨日、旭高校の運営協議会に岡田会員と出席して参りました。その中で、職業講話について、検討していただければといったお話もしてきました。

活動が少ない中、インターアクト、中学校、高等学校への奉仕の機会などは当クラブの活力度やPRにもなると思います。

例えば、オンラインの映像や、録画した職業講話を利用して、授業で使うなど、実際に行かなくても、奉仕できることはあります。コロナだからできないではなく、コロナだからできること、変えたことに着目し、今後も続くコロナ環境に対し、各委員会活動の検討、見直していかなければならないと感じた一年でした。

【ロータリー財団】増田嘉一郎

1. 今年度のロータリー財団への寄附は、年次基金とポリオプラス共に、例会にお見えになっている会員の方からは、ご協力をいただいた。

ただし、地区がクラブに設定している目標額は、年度当初の会員数に基づいて算出しているため、退会された2名の会員と、この1年余り当クラブの例会に1度もお見えになっていない1名の会員の計3名分が不足しているという結果となっている。

2. ベネファクター目標1名については、この年度が始まる前から、未だ資格を有していない有力会員にお願いをしていたが、未だ納められていないようである。残る期間は1か月となったが、当該会員には重ねて強く願

いをすることにする。しかし、もし、これからでも、2度目以上でも構わないので、本日お見えの会員でベネファクターにご協力いただける方がいらっしゃったなら、ご協力をお願いする。

3. ロータリー財団地区補助金プロジェクトについては、災害対策委員会が企画した横浜フリースポーツクラブ（横浜FC）との共同コラボ「エコペーパー石鹼」の配布を地区へ申請しており、現在審査結果待ちの状態である。申請が通れば、次年度ロータリー財団委員会と奉仕プロジェクト委員会と災害対策委員会とで進めていただくことになる。

【米山記念奨学会】 齋藤 善孝

特別寄付を今年度も100%を目指しておりました。会員数24名の内23名からご協力をいただきました。金額に付きましては、目標が48万円のところ、45.5万円が集まりました。率では95%の達成率です。皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

【災害対策委員会】 佐藤 真吾

1. 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取り組み

・フェイスシールドの寄贈

9/2(水) 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院に3ケース(360セット)

10/8(木) 神奈川県立がんセンターに3ケース(360セット)

12/16(水) 旭区歯科医師会に1ケース(120セット)

※聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院へは合計で11ケース(1320セット) 寄贈

※1ケースは例会時にクラブ会員に配布(残り2ケース)

・地区「ロータリー災害救援補助金」プロジェクトへの申請

横浜FCとのコラボ企画「エコペーパー石鹼配布プロジェクト」を申請したが、現場のコロナ対応に直結する基本的な物資提供の支援を最優先するとの事から残念ながら不採用。その後、地区から2021-22年度「地区補助金」プロジェクトへの追加募集へのお知らせがあり、「エコペーパー石鹼配布プロジェクト」を再申請。現在結果待ち。

2. 東日本大震災復興支援に向けた取り組み

・防災心得帳「てんでんこ」

防災心得帳「てんでんこ」の発展企画の相

談に11/10(火) 田中作次 RI 元会長を訪問。

・震災サミット

東日本大震災から10年。これまでのロータリーの震災復興支援の活動報告から、次世代に向けた支援活動の在り方を考察する。内容はあくまでも仮定の段階でまずは当クラブ理事会で企画提案を承認いただき、岩沼RCへ共同提案を打診していく。岩沼へは連絡済み。

3. その他

・8/5(水) 内田敏さんから災害支援基金へ50,000円寄付

・3/10(水) に予定していた災害復興支援フォーラムは中止

【チャリティーコンサート部会】 新川 尚

今年度のチャリティーコンサートはコロナ禍の為、中止としました。

このチャリティーコンサートは東日本大震災復興支援から始まり、震災の風化防止、災害対策へと啓蒙活動に主眼を置いて続けてきました。震災から10年を経過し、人々の記憶が薄れるなか、参加者には我々の思いを伝えることが出来ていると感じます。回を重ねる毎に学校、生徒、地域の方々から寄せられる期待は高まっており、旭区地域振興課の積極的な協力のもと、10回目の節目でもあるので、次年度は是非、開催したいと考えております。

引き続き皆様のご支援ご協力を宜しく願います。

■矢田名誉会員を訪問して 兵藤 哲夫

矢田先生、ありがとう。うれしい私の気持ちを伝えたくて思わず電話をしてしまいました。

「お一兵藤か! どうした。」「そちらに伺っていいですか?」「いいよ来いよ」私はロータリークラブ新会員を推薦してくれたお礼を直接伝えなかったのです。旭の逸品、畠山重忠の純



米酒を用意して矢田宅を訪問した。

息子さんのお嫁さんが愛想良く出迎えてくれた。奥から矢田先生が出てきた。お礼を云い、お土産を渡した。「上がっていけよ。」「ここで結構です。ただ一言お礼を云いたかっただけです。」「まあ、上がんなよ。」断り切れなく応接間に通してもらった。

いつもと変わらない矢田流だ。なんとも接遇がありがたい。大胆で人情深く、そして一本筋が通っている。こんな先生を長いこと見てきて、私は尊敬していた。皆さんが一生懸

命だった会員増強。思うように行っていませんでした。特に力を入れて声を掛け続けていた歯科の先生、皆だめだった。それも矢田先生の紹介で新会員が決まった。待望の歯科の先生の入会。本当に嬉しく思います。

それにしても94歳の矢田先生。もう脱帽だ。いつまでもお元気でいてほしい。

■次回の例会

6月9日 移動例会(小田原・真鶴)

6月23日 最終例会「この一年を振り返り」

週報担当 五十嵐正

国際ロータリー第2590地区「Webロータリアンマップ」完成・公開のご案内 ～ 奮ってご登録・ご活用下さい ～

拝啓 初夏の候 皆様におかれましては益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素よりロータリー活動にご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本年度地区として取り組んで参りました「Webロータリアンマップ」が完成し下記の通り公開の運びとなりましたのでご案内致します。

2019年12月に武漢で発生した新型コロナウイルスは、世界中に広がりパンデミックとなり、我が国においても2020年4月に緊急事態宣言が出され、飲食業界や旅行業界を中心に大きな打撃となりました。ようやく回復する兆しが見えたかに思えましたが、本年1月には再び緊急事態宣言が出され、その後も相変わらず変異ウイルスが猛威を振るい、大きな影響が出ております。

このように疫病により社会不安が増大するとき、経済が大きな打撃を受けているときは、ロータリアン同士が相互扶助の精神を発揮して、この難局を乗り切ることが重要です。

そこで相互に支えるための仕組みとして「Webロータリアンマップ」を作成致しました。

これは当地区会員のうち新型コロナウイルス感染拡大に伴い大きな打撃を受けている飲食業・旅行業等を経営する会員への支援を当初の目的としていますが、地区内すべての会員企業が登録できるシステムとなっています。多くの企業が登録し、多くの情報が掲載されることによって、より使いやすいツールとなりますので、地区内で飲食店、旅行業を営んでいらっしゃる会員の皆さま始め貴クラブ会員各位にご案内頂き、多くの皆様に積極的にマップへ情報掲載頂き、また活用して頂きたくお願い致します。 敬具

記

【 国際ロータリー第2590地区「Webロータリアンマップ」について 】

1. 公開 URL : <https://ri2590.org/rotarian-map/>
閲覧用ユーザー名 : rmap2590 パスワード : mpbrowse
(スマートフォンの場合、ブックマークを作成しホーム画面に追加しておくとう便利です)
2. マップへの掲載登録方法 :
 - ① 会員名、所属クラブを登録申請用アドレス rotarian-map@ri2590.org にメール送信
 - ② 利用規約、登録用フォームが返信されるので、規約を確認、フォーム記入の上返信
 - ③ 管理者が登録後、掲載完了報告を指定のメールあて通知

※ 皆様からご提供いただきました個人情報は、Webロータリアンマップの管理会社である株式会社マイソフトウェア(川崎北RC会員)が適切に管理致します。なお、会員退会時や不適切な記載が確認された際等も同社が管理者権限をもって適宜、修正・削除等することがございますのでご了承下さい。 以上